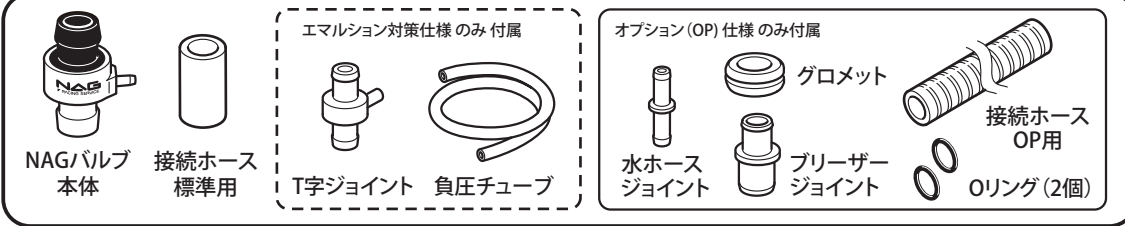


この度はNAG SED内圧コントロールバルブ(NAGバルブ)をお買い求め頂きありがとうございます。この説明書はNAGバルブの標準的な取付方法をご案内するものです。取付をおこなう車体の年式、グレードにより取付方法が異なる場合があります。また製品の仕様によって取付方法に違いがあります。ご購入された仕様をご確認の上、取付をおこなって下さい。

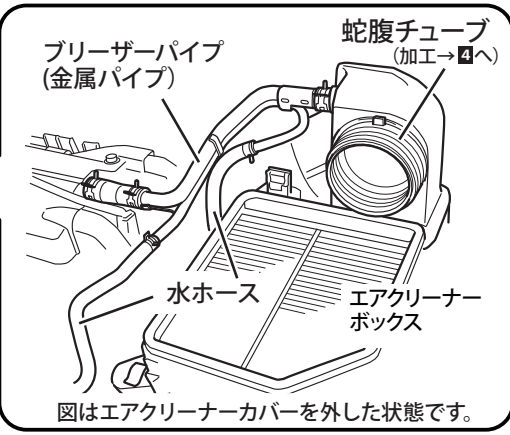
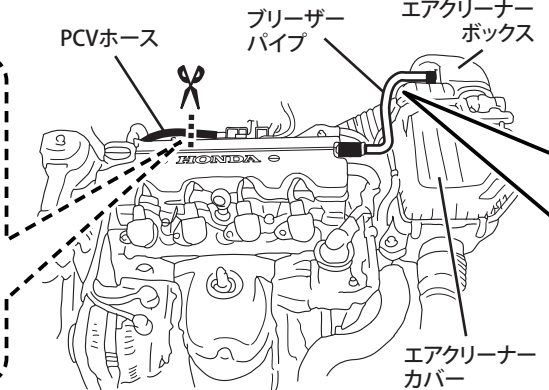
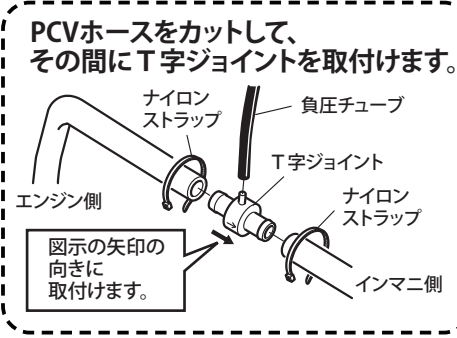
1 セット内容 最初にご確認ください。 NAGバルブの仕様により構成は異なります。



2 ご準備いただくもの



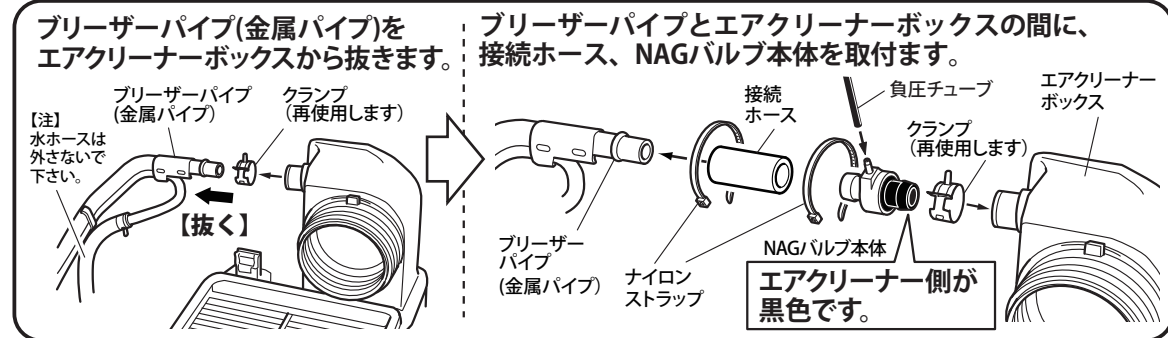
3 T字ジョイントの取付



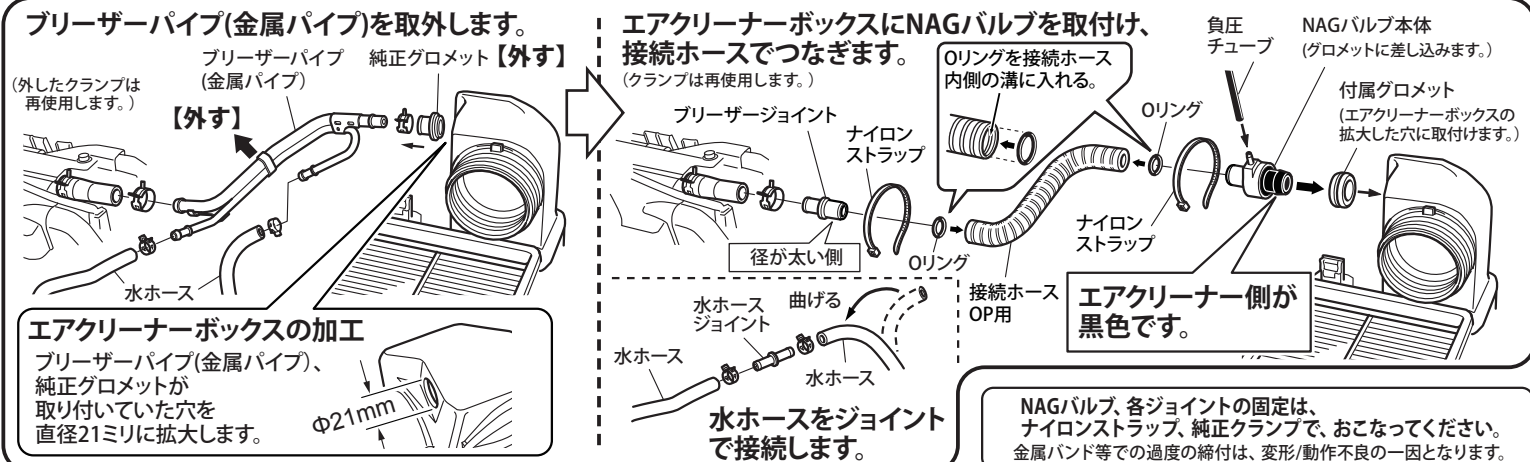
4 蛇腹チューブのカット



5 NAGバルブ本体の取付(標準仕様)



6 NAGバルブ本体の取付(オプション仕様)



7 NAGバルブとT字ジョイント間を負圧チューブで接続します。(エマルジョン対策仕様のみ) → 以上で取付は終了です。再度取付方向、部品の固定をご下さい。

負圧チューブが余裕を持った取り回しになるように接続してください。
寒冷地においては、負圧チューブ中央部が上がった山なりの配管にすることで、チューブ内に水分が残るのを防ぎ、凍結防止対策となります。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。

定期清掃	本品はエマルジョンの処理は出来ますが、同時発生するスラッジは防ぐことは出来ません。スラッジは作動部分には付着しませんが、乾燥固着すると除去が困難になります。長持ちさせるためにも、乾燥固着する前に走行距離に合わせて、年1~2度、又は、オイル交換時に定期的な清掃をお奨め致します。
清掃方法	軽度の汚れの場合はパーツクリーナーや灯油、ガソリンで丸洗いして清掃してください。汚れがひどく除去出来ないときには、キャブクリーナーを使用してください。また清掃にはブラシなどは使用しないでください。